

進路だより

浜田水産高校

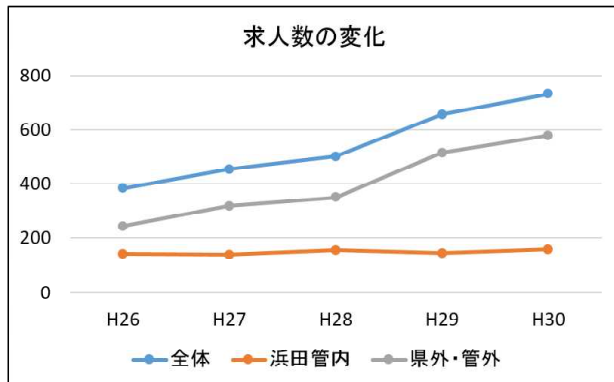
第5号 H30.8.29

進路指導部

今年の求人状況

今年も求人票が沢山届きました。8月27日現在で732件に達し、昨年度トータルの656件を既に超えているという状況です。まだ少しずつですが届いているので、最終的には800件近い数字になるのではないのでしょうか。就職を希望する高校生にとっては、良い状況が続いているといえます。

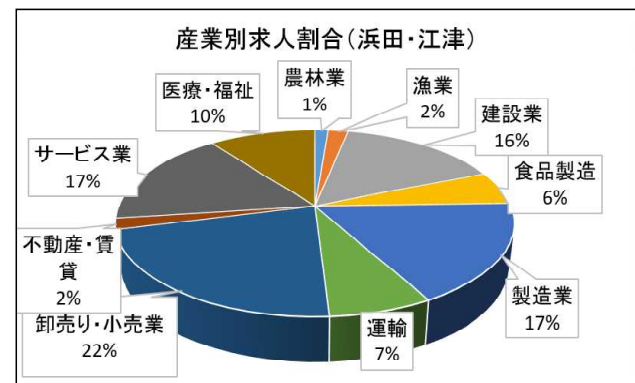
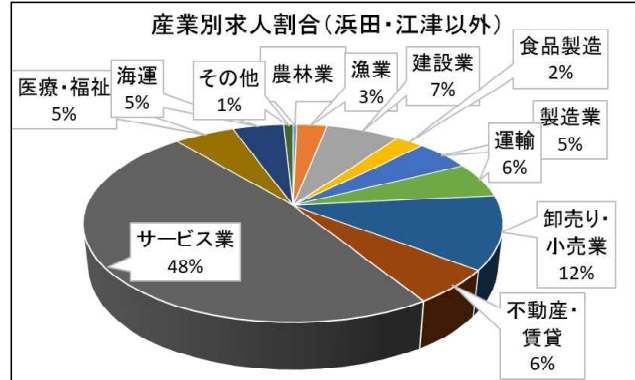
下のグラフは、ハローワーク浜田管内（浜田市・江津市）とそれ以外からの求人件数の変化を、年度ごとに表したものです。県外・管外からの求人は右肩上がりであるのに対し、浜田管内からの求人件数は横ばいであるのがよく分かります。今後も増加するとはあまり考えられません、従って地元就職希望者が多い本校の生徒にとっては、数年前から求人状況にあまり変化がないということにもなります。



次に県外・管外（浜田・江津以外）求人と、管内（浜田・江津）求人の特徴を比べてみました。県外・管外求人といっても、殆どが県外求人です。そこを理解しながら上下に並べた右の円グラフを見て下さい。

みなさんはどんな特徴に気づきましたか。サービス業の占める割合が、明らかに違うのが分かるのではないのでしょうか。東京や大阪をはじめとした都会では、サービス業に従事する人が不足しているということです。実際に都会へ行ってみると、コンビニやホテルのレストランで働いている人はほとんど外国人です。求人の約半数がサービス業となっているのも、納得してしまいます。

一方地元である浜田・江津からの求人は、サービス業の割合が低いので、他の産業からの求人割合が相対的に高くなっていますが、特に製



造業からの求人割合が高くなっています。浜田・江津地域には、県や市が誘致した工場がいくつかあります。人口の割にこのような企業が多く、製造業からの求人が多くなっているものと思われま

す。現在までに届いた求人票から、状況を簡単に分析してみました。進路選択の参考にして下さい。また、進路指導部には様々な資料やデータがそろっています。自分で分析してみたい人はいつでも来て下さい。提供します。

2学期始まりました。

学校中が体育祭の準備に取り掛かっていますが、これから3年生は就職・進学に向けた山場を迎えるので、進路指導部は2学期のスタートを緊張感を持って迎えました。体育祭準備のにぎやかさから少し離れ、応募書類発送や就職試験直前指導の準備にかかっているところです。私たち教員にとっては毎年のことですが、3年生にとっては一生に一度の大事な時期となります。「どうか順調にいきますように。」と願わずにはられません。